

# 学校を開くWEB学級日誌や学校配信メールの活用（H15年度CEC学校企画）

愛知県小牧市立小牧中学校 教頭 石川 学  
ishikawa@k-komaki-j.ed.jp  
http://www.k-komaki-j.ed.jp

## 1 学校を開く目的

「学校に行かなくても学校のことがよくわかる」積極的な情報発信

## 2 学校を開く手段

情報を受信する対象を保護者と考え、保護者が必要とする、また興味を抱く膨大なコンテンツを有し、リアルタイムな情報提供のために毎日の更新を心がけている。生徒が学級の様子を知らせる「学級日誌」、毎日の給食の献立が写真で分かる「給食紹介」、生徒に配布した文書等がすべて掲載される「配布文書一覧」など、保護者による学校ホームページモニター会議で出されたアイデアや要望をできる限り取り入れた身近で親しみやすい、有用なホームページを心がけている。また、PTA活動の部分を学校地域コーディネーターが担当し、機会あるごとに情報発信している。さらに、e-mail や携帯電話を使って希望する家庭へ週の予定や出来事など学校の情報を伝えている。現在約300家庭ほどの加入がある。

## 3 具体的な実践内容

### (1) WEB学級日誌

従前の「学級日誌」は1年間の冊子状のもので、その日の授業の内容や出欠席、当番生徒の感想や担任のコメントなどを記入していた。しかし、その書かれたことはその学級だけにしか伝わらず、閉ざされたものだった。そこで、毎日の生徒の感想だけでも学級の外に紹介して、クラスの出来事やその日の様子を「校内スクールネット」で知らせることにより、学級を開く手だてとならないかと考えたものである。これが、本校で実施している「WEB学級日誌」である。

学級で日直などの当番生徒が校内スクールネット上の学級日誌にコンピュータから入力すると、校内WEBでその日の全学級のコメントが一覧表示され、また、あるクラスの1ヶ月分のコメントも一覧表示されるのである。この校内スクールネット上の「WEB学級日誌」のデータは、校外用のマキネット上の「WEB学級日誌」へ、毎日17:00をめどにデータ転送され、学級日誌の内容が校外へ発信されている。

この取り組みより、単身赴任してみえる保護者の方や遠方で暮らしてみえる祖父母から、「うちの子どもの学級の様子が分かるのでよい」「孫が通っている学校の様子や学級の様子が今まで以上に分かってありがたい」といった声も聞かれる程である。

#### ■学級日誌のWEB化で何が変わったか■

学校HPがなかなか更新できない。これは、学校HPがあるかなりの学校の悩みでもあると思う。学校HPは担当者だけがつくり更新するものではない。この「WEB学級日誌」により、全校生徒が学校HPづくりに参加することになる。教師だけではなく、間接的ではあるが生徒の手によって、生徒自らが感じたことや考えたことが蓄積されていくことになり、「マキネット（小牧中HP）は自分たちもつくっているんだ」という意識が芽生えた。よく心配されるいたずら書きがないのも、そうしたことを物語っているものと考えられる。

#### ■学級を見つめる機会に■

冊子状の学級日誌では、「今日はうるさかった」「静かだった」「普通の日だった」などといったほとんど意味のない内容の感想が多かった。しかし、他のクラスの日誌が見え、お互いに刺激し合うことにより、自分が感じたことを自分の言葉で豊かに表現できるようになってきた。次の文は、コーラス大会のときの3年生の生徒の感想である。「最優秀賞取れなかった。悔しい。でも、それよりみんなで一つのことをやって同じように悔しいとか歌えてよかつ



たとか、そんな風にみんなで同じ気持ち同じ時間を共有できたこと、ホントに良かったと思った。私は、あんまりこのクラスになじめないと感じていた。でも、今はみんなと歌が歌えたから、練習できたからそれが無くなった。朝つらかったのもこれから無くなると思うと少し寂しい気がします。それと、一人では歌えなかった合唱をみんなで歌えたから、みんなにありがとうと言いたいです。」

その前日には、「みんな、明日のコーラス大会では、がんばって先生を泣かそう。」などというものもあった。お互いの声が聞こえる、聞くことができるということは、生徒たちのエネルギーをも増幅する効果も持っている。

■「学級日誌コンクール」の実施■

「WEB学級日誌」をさらによりよくするために、ネットワーク委員会によるコンクールを学期に1回実施している。毎日記入することができた「EVERY DAY 入力賞」、あと1日がんばれば「努力賞」、個人の内容の優れたもの「優秀賞」を設定し、意識の向上や情報モラルを身につけるための活動を行っている。

(2) 学校配信メール

「学校の今を伝える学校配信メール」というキャッチフレーズで、週に1～2通の割合で「牧中メール」として登録していただいているPCのメールアドレス宛や携帯電話のメールアドレス宛に一斉配信し、「牧中メーリングリスト」として管理・運営しているものである。主に、週末に発信するものは次週の学校の予定を、不定期には最近の学校の様子や緊急で連絡したい内容など、様々な内容でメール配信している。このメールの内容は、マキネット管理サイトから自動アップされ、学校HPからも確認ができるようになっている。

「学校配信メール」について、案内文書でPRしたり、学校公開日やPTAの会議等でそのよさを知らせたりしている。特に、緊急の連絡等の内容については、携帯電話でメール受信をしてみえる方にとってはリアルタイムに情報を仕入れることができ大変助かっていると好評である。

また、学校公開日を利用し、保護者の方に参加いただき学校HPやメール配信についての意見を聞く「マキネット・モニター会議」を開催し、保護者の方が必要としている情報を発信できるように改善にも努めている。

